

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成26年3月27日 (2014.3.27)

【公表番号】特表2009-538941(P2009-538941A)

【公表日】平成21年11月12日 (2009.11.12)

【年通号数】公開・登録公報2009-045

【出願番号】特願2009-512495(P2009-512495)

【国際特許分類】

C 1 1 D 1/62 (2006.01)

C 1 1 D 1/65 (2006.01)

C 1 1 D 1/14 (2006.01)

C 1 1 D 1/29 (2006.01)

C 1 1 D 1/22 (2006.01)

C 1 1 D 1/28 (2006.01)

D 0 6 L 1/12 (2006.01)

D 0 6 M 13/467 (2006.01)

D 0 6 M 13/47 (2006.01)

【F I】

C 1 1 D 1/62

C 1 1 D 1/65

C 1 1 D 1/14

C 1 1 D 1/29

C 1 1 D 1/22

C 1 1 D 1/28

D 0 6 L 1/12

D 0 6 M 13/467

D 0 6 M 13/47

【誤訳訂正書】

【提出日】平成26年2月3日 (2014.2.3)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

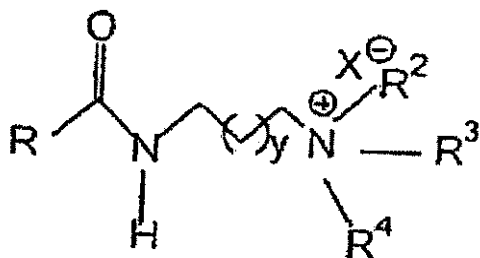
【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

10重量%～40重量%の少なくとも1のアニオン性の洗浄性界面活性剤成分と、式【化1】



(I)

のアミドアルキルアミン 4 級アンモニウム化合物を含んでいる少なくとも 1 のカチオン性柔軟剤とを含んでいる、改良された柔軟化および帯電防止特性を有するツーインワン (2

— i n — 1) 洗濯洗剤組成物であって、

Rが、牛脂脂肪酸に由来し、20～100のIV（ヨウ素価）を有する分枝状または直鎖の炭化水素基であり、前記炭化水素基の80%以下が16～18炭素原子を有し、Rの残部が、6～26炭素原子を有する分枝状または直鎖のアルキル基から選択されており、

R²およびR³が、それぞれC₁～C₈アルキル、C₁～C₈アルコキシアルキル、C₁～C₈ヒドロキシアルキル、および2～30の範囲にある重合度を有するC₁～C₈ポリアルコキシアルキルからそれぞれ独立に選択され、

R⁴が、飽和または不飽和のアルキル、アリール、アラルキル、アルカリール基、またはヒドロキシアルキルスルホネートであり、

R²、R³、およびR⁴のうちの任意の2つが、該2つが結合されている窒素原子とともに任意的にヘテロ環式環を形成してもよく、

yが0～12の整数であり、

X⁻が、メトサルフェート、ハロゲンイオン、リン、イオウもしくは塩素のオキシイオン、相溶性の有機アニオン性分子、およびこれらの混合物から選択されたものであり、および

当該カチオン性柔軟剤のIV（ヨウ素価）が20～100である、組成物。

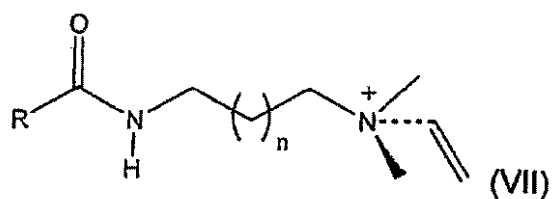
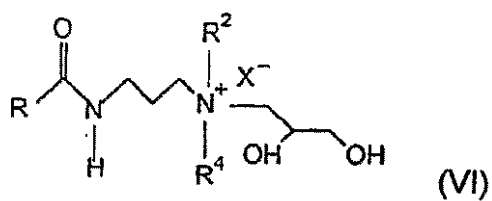
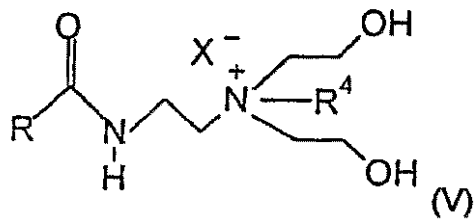
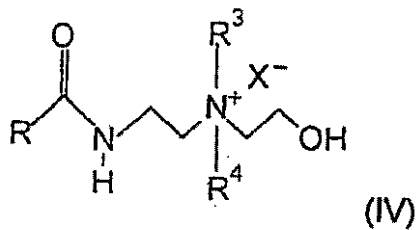
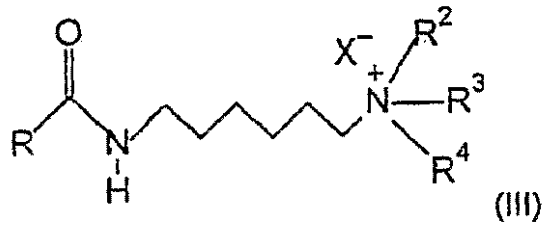
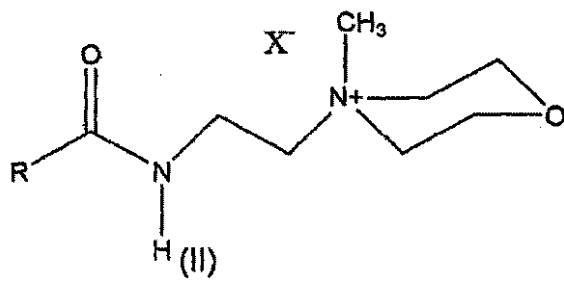
【請求項2】

R²およびR³が、それぞれ独立にC₁～C₄アルキル、C₁～C₄アルコキシアルキル、C₁～C₄ヒドロキシアルキルおよび2～30の範囲にある重合度を有するC₁～C₄ポリアルコキシアルキルから選択され、R⁴が飽和または不飽和のC₁～C₄アルキル、アリール、アラルキル、またはアルカリール基であり、およびRが40～65のIVを有する、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

当該アミドアルキルアミン4級アンモニウム化合物が式

【化 2】



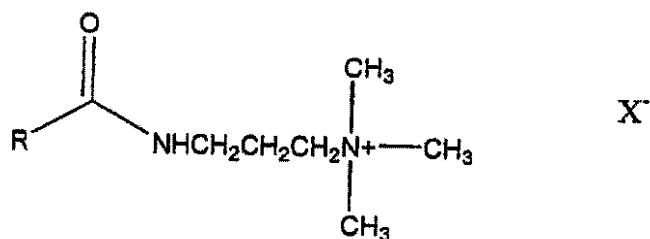
のうちの少なくとも 1 の化合物またはこれらの混合物を含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 4】

当該アミドアルキルアミン 4 級アンモニウム化合物が、牛脂アミドプロピルトリメチルアンモニウム 4 級塩、アミドプロピルモルホリン 4 級塩、イソステアリルアミドエチルモルホリン乳酸塩、またはこれらの混合物を含んでいる、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 5】

当該アミドアルキルアミン４級アンモニウム化合物が、以下の構造
【化３】



を有する、請求項１に記載の組成物。

【請求項６】

当該アミドアルキルアミン４級アンモニウム化合物１重量％～１０重量％を含んでいる、請求項１に記載の組成物。

【請求項７】

アニオン性界面活性剤成分とアミドアルキルアミン４級アンモニウム化合物との重量比が、１：１～２０：１である、請求項１に記載の組成物。

【請求項８】

当該アニオン性界面活性剤が、８～２４炭素原子を有するアルキルサルフェート、パラフィンスルホネートの水溶性塩；１２～２４炭素原子を有するアルキルグリセリルエーテルスルホネート、αスルホン化脂肪酸のエステル、オレフィンスルホネート；βアルキルオキシアルカンスルホネートであって、該アルキル基中に１～３炭素原子および該アルカン部分中に８～２０炭素原子を有するもの、非エトキシ化 $\text{C}_{12}\sim_{15}$ の１級および２級アルキルサルフェート、アルキルベンゼンスルホネート、およびこれらの混合物を含んでいる、請求項１に記載の組成物。

【請求項９】

当該アニオン性界面活性剤が、水溶性のアルキルサルフェートおよび式

【化４】



のアルキルポリエトキシレートサルフェートであり、Rが１０～２２炭素原子を有する飽和または不飽和の炭化水素鎖であり、Mがカチオンであり、およびxが０～１５である、請求項８に記載の組成物。

【請求項１０】

当該洗濯洗剤組成物が、当該洗浄性界面活性剤５～４０重量％を含んでいる、請求項９に記載の組成物。

【誤訳訂正２】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】００２１

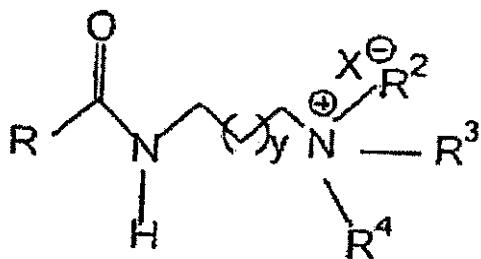
【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【００２１】

他の実施態様では、該界面活性剤は以下の一般式

【化 1】



(I)

を有するアルキルアミドプロピルトリアルキルアンモニウム 4 級塩化合物であり、この式で、 R は牛脂アルキルであり、 R^2 、 R^3 、および R^4 はメチルであり、 y は 1 であり、ならびに X^- は上記の通りであり、好ましくはメトサルフェートである。